



先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム

The World-leading Innovative Graduate Study: Advanced Business Law Program

名前	野上 信泰 (Nobuyasu Nogami)
課程	博士課程
研究分野	金融商品取引法・会社法 (開示制度)



主な経歴・学位等

2021年 東京大学公共政策大学院修了
日本公認会計士協会研究員

最近の主要業績

- 判評** 「有価証券報告書に記載された連結経常利益の虚偽性と重要性」 横浜地判令和3・3・12
ジュリスト1569号126頁(2022)
「複数年度にわたった不適切会計に起因する投資者損害の賠償」 東京地判令和3・5・13
ジュリスト1576号146頁(2022)
「有価証券報告書に記載すべき役員報酬」 東京地判令和4・3・3ジュリスト1582号109頁
(2023)
- 論文** 「会計不正を抑止するための罰則等に関して」 会計・監査ジャーナル31巻2号26-35頁・
同4号32-41頁・同6号34-43頁(2019)
Mandatory annual disclosures for listed companies during crises in Japan: COVID-19
and the Great East Japan Earthquake (2021)
- 成果** 会計・監査ジャーナル「リサーチラボTeatime」：2019年9月号「独禁法とその改正につ
いて」、11月号「契約法の改正に関して」、2020年1月号「中央銀行の財務諸表の監
査」、2月号「補助金等を受領する事業体の監査」、3月号「国際社会における腐敗防止
の声の高まりと公認会計士」、4月号「海外における会社法上の外部監査の要否判定基準
について」、5月号「情報の非対称性と公認会計士」、6月号「販売預託商法と会計監
査」、7月号「大小会社区分基準としての資本金基準について」、8月号「合意された手
続業務の世界」、9月号「複雑性のない事業体向け国際監査基準開発の動向」、2021年11
月号「会計不正と行動経済学」、12月号「岐路に立つ株式会社と監査」、2022年2月
号「マテリアリティと重要性」、3月号「会計不正に関連する判決文を読む」、4月号
「会社法と倒産法の罰則」、5月号「『監』と『査』」、6月号「資本市場のゲートキー
パー」、7月号「違法行為のあった組織体に対する制裁」、8月号「コネクティビ
ティ」、9月号「公衆の縦覧に供される経営者確認書」、10月号「役員報酬開示と問題事
例」、11月号「諸外国の内部統制報告制度」、12月号「大規模合同会社の法定開示」、
2023年1月号「専門職の将来像の描き方」、2月号「社会経済の混乱と職業会計士」

連絡先

nkysc * g.ecc.u-tokyo.ac(dot)jp